

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	学校企画課長 高橋泰幸	電話番号	0852-22-5408
----------	-------------	------	--------------

事務事業の名称	進路希望実現のための講師配置事業		
目的	(1) 対象	○進路指導教員代替講師配置 … 専門高校及び就職者の多い普通科高校20校 ○教科指導充実講師配置 … 進学者の多い普通科高校13校	
	(2) 意図	○進路指導主事等の授業時数を軽減し、求人開拓等の機会を増やし、就職指導の充実・強化を図る。 ○少人数指導や個別指導等の個々の生徒に応じたきめの細かい教科指導の充実を図り、進路希望実現に向けた支援を強化する。	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・進路指導教員代替講師代替事業において、進路指導主事または就職担当教員の授業時数を軽減するために、講師を配置し、就職指導の充実・強化、とりわけ県内就職に向けた支援の強化を図る。 ・教科指導充実講師配置事業において、少人数指導・習熟度別指導・個別指導等一人一人に応じたきめの細かい指導の充実を図るとともに、講師を配置し、多様な生徒の進路希望実現を図る。 		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	県立高校生の就職内定者における県内就職内定率	目標値	80.0	83.0	83.0	85.0	%
	式・定義	県内就職内定率×100/就職内定者	取組目標値					
			実績値	74.2				
			達成率	-	-	-	-	%
2	指標名		目標値					%
	式・定義		取組目標値					
			実績値					
			達成率	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	54,484	82,622
うち一般財源 (千円)	54,484	82,622

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	③改善策を検討中
---------------------	----------

5. 評価時点での現状 (客観的事実・データなどに基づいた現状)

就職希望者の就職内定状況は、高水準を保ちながら年々上昇しており、過去5年間の推移は、H23年度 97.7% → H24年度 98.3% → H25年度 98.6% → H26年度 99.5% → H27年度 99.5% となっている。一方、就職内定者の県内就職率については、H23年度 77.6% → H24年度 78.6% → H25年度 77.4% → H26年度 79.2% → H27年度 74.2% となり、徐々に上昇していた県内就職率は、H27年度末で下降した。

6. 成果があったこと (改善されたこと)

進路指導教員代替講師配置により、県内企業との連携、求人開拓、就職した卒業生のフォローアップなどが充実し、高い就職内定率につながっている。

7. まだ残っている課題 (現状の何をどのように変更する必要があるのか)

- ①困っている「状況」
県内就職内定率は、県東部の高校で80%を超えているものの、県西部の高校で80%を下回っている。
- ②困っている状況が発生している「原因」
従来より県西部の高校は、県外企業を選ぶ傾向が強いが、H27年度に県外企業の採用意欲が高まったことで、その傾向がより強くなった。
- ③原因を解消するための「課題」
県外志向が依然として強い県西部の高校において、生徒・保護者に地元企業の魅力が十分に伝わっていない。

8. 今後の方向性 (課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

県西部の高校を中心に、地元企業と連携を一層強め、生徒に十分魅力の伝わるインターンシップを実施したり、保護者向けの説明会を実施することで、地元企業で働く意義や魅力を生徒や保護者に地道に伝えていく。

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効果的・効果的に行ってください。
・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価 (任意記載)